

鎌倉 題字は建長寺派僧長 吉田 正道
写真 原田 寛

みほとけ紀行 (119)

覚園寺・薬師如来三尊坐像

大河ドラマ「鎌倉殿と」の主人公北条義時、公卿の鶴峰山真言院の覚園寺さまを訪ねました。光栄にもご住職自らのご案内。入山した瞬間、体が清らかさに包まれるような感覚。緑豊かで雄大で落ち着いた伽藍に心と息が落ち着きます。歩を進め、よいよ本堂、薬師堂へ。「わあー」と声が出てしまふかのような存在感のある薬師三尊仏。自然に手が合致します。お参りして、ふと、どこかでお会いしたかのような感じがしました。そ

「ウクライナに平和を」
市民団体が募金活動

ロシア政府の侵攻によりウクライナが危機に瀕していることを憂慮し、鎌倉ユネスコ協会（佐藤美智子会長）が緊急支援の募金活動を3月10・11・12の3日間、鎌倉駅東口周辺で行ったII写真。52万3593円の募金（寄付含む）が集まり、15日、国連WFP、日本ユネスコ協会連盟のウクライナ緊急募金に送った。

鎌倉子ども能 17人が成果披露

鎌倉市が、子どもたちが日本の伝統文化の能に接する機会を提供しようと行っている「鎌倉子ども能」の発表会が3月12日、鎌倉能舞台（鎌倉市長倉）で行われたII写真。



鎌倉芸術館が再スタート

鎌倉芸術館は市内では最大規模の文化施設として1993年（平成5）の開館以来、芸術文化の振興に貢献し、芸術を愛する多くの市民に親しまれている。2006年度から指定管理制度が導入され、17年から「サントリパープリシティ」が運営を担ってきた。

4月1日から鎌倉文学館、鎌倉清方記念美術館を運営している（公財）鎌倉市芸術文化振興財団が担うこととなった。これまでの実績から市内の芸術家、市民との相互連携がさらに向上すると思われ期待したい。（2面「ひと」に関連記事）

2018年度から実施されていて、参加者は市内在住、在学の子供4年生から中学生まで。3回目の今回は17人が参加し、7月から能楽師中森貴太さんの指導で稽古を重ね、本番は本物の装束、舞台で成果を披露。

演目は「土蜘蛛」。頼光役で美声を響かせた手島福太郎くん（小学4年）は「結構うまくできた」。僧役の松本旭生くん（小学6年）は「緊張してセリフが早くなった。せりふを合わせるのが難しかった」、土蜘蛛の精を演じた水本あや芽さん（中学3年）は「かつらが重かったけど、糸をどばすのもうまくできた」と充実した表情でこの事業の継続を願っていた。

FC小坂が優勝

第32回鎌倉ロータリークラブ少年サッカー大会の準決勝、決勝戦が2月11日、笛田公園グラウンドで開催された。

鎌倉ロータリークラブ（箱山直樹会長・会員81人の主催で、市内12の小学生チームが参加した。決勝戦はFC小坂と湘南ルベントが対戦し、PK戦で小坂がゴールを決めた。「優勝できたのは初めて」と選手たちの喜びはひときわだった。

閉会式で同ロータリークラブから、3位のおなりレパーズ、関谷SC、2位の湘南ルベント、1位のFC小坂の選手たちに銅、銀、金のメダルが授与され、小坂には優勝カップも手渡された。同会から全チームにサッカーボールの寄贈もあった。

鎌倉の梅屋

梅屋

井上藩邸

http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の年中行事 4月

▼若宮例祭 3日10時、鶴岡八幡宮。

▼釈迦如来立像開扉 7・8・9日極楽寺。お堂の外から参拝のみ。

▼灌仏会（花祭り） 8日各寺院。

▼忍性塔公開 8日16時、極楽寺。

▼丸山稲荷社例祭 9日10時、鶴岡八幡宮。

▼旗上弁財天社例祭 10日11時、鶴岡八幡宮。

▼銭洗弁財天宇賀福神社例大祭 10日11時、初巳例大祭 10日11時、江島神社。

▼源頼朝公墓前祭 13日10時半、頼朝の墓。

▼鎮大師正御影供 16日青蓮寺。

▼武内社例祭 21日10時、鶴岡八幡宮。

▼昭和祭 29日10時、鶴岡八幡宮。

▼義経まつり16日満福寺。関係者で法要のみ。

新型コロナウイルス 新型コロナウイルス感染拡大やウクライナ情勢の悪化など、社会情勢が非常に緊迫している状況に陥っている。▼「マスク不要な平穏な日々を」と、願っていました。▼ニュースでは心身共に疲弊して心を閉ざしてしまうような非日常が次々と報じられています▼暖かくなり、お花見などを含めた歓送迎会などが楽しめる季節になってきたのに、そのような光景が懐かしさを感じられています▼そして、2022年「鎌倉花火大会」も中止が決定されました。中止は3年連続です。感染拡大防止の観点からも苦渋の決断だったと思います▼世界中に響き渡るくらい、ドドンと大きい花火のよう、超特大の明るい話題を欲しています。（N）

鎌倉の町並と日本人の心に馴染む家づくり

KAMAKURA STANDARD

戸井田工務店

0467-24-7777

www.kamakura-standard.com

第55回記念 鎌倉美術展 公募

日本画・洋画（油彩・アクリル・水彩・パステル・版画）・工芸（染織・陶芸）の作品を募集します

応募資格：16歳以上、どなたでも

出品点数：一人1点1部門

出品料：5,000円 25歳以下3,000円

搬入：5月21日（土）・22日（日）鎌倉芸術館ギャラリー

賞：鎌倉美術家協会賞 神奈川県知事賞 鎌倉市長賞 鎌倉朝日賞 ほか

会期：5月27日（金）～6月2日（木）10:00～17:00（最終日は16:00）

会場：鎌倉芸術館ギャラリー（鎌倉市大船6-1-2）0467-48-5500

主催 鎌倉美術家協会

後援 神奈川県、鎌倉市、鎌倉市文化協会 鎌倉商工会議所、鎌倉朝日新聞社 ジェイコム湘南・神奈川

※公募要綱・出品申込書は協会のホームページ、鎌倉市役所、市内の学習センター、画材店等、又は下記事務局にお問合せ下さい。郵送します。

（事務局）〒248-0003 鎌倉市浄明寺1-2-28 070-5597-1428 村田 ただし5月27日から会期終了まで鎌倉芸術館に移ります

企画展「追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語」

6月12日（日）まで

鎌倉を愛し、鎌倉に愛された映画人、やまのうちの静夫 山内静夫を偲ぶ企画展

松竹大船撮影所の足跡や、鎌倉文士との交流も紹介。

上映作品 『早春』『秋日和』『キネマの天地』『砂の器』『利休』など

企画展観覧料（一般）：200円 映画鑑賞料金（一般）：1000円

鎌倉市川喜多映画記念館 9:00～17:00（月曜休館）TEL: 0467-23-2500

鎌倉が愛した、映画人がいた。

秋日和